

# ふるさと 香美

## 今月号の主な内容

- ・年頭のごあいさつ … P. 2～ 3
- ・行政トピックス … P. 4～ 9
  - ・人権啓発作品表彰式、人権講演会開催
  - ・けんこう広場
  - ・町職員（正規職員、嘱託職員）募集 ほか
- ・まちの出来事 … P.10～ 11
- ・今昔物語 … P.12  
（別冊 けいじばん、いきいきカレンダー）



### 【写真】 輪飾り、上手にできました！

香住地区公民館 しめ縄作りもちつき大会

世代間の交流と伝統文化の継承を目的に行われたしめ縄作りもちつき大会。

地元のお年寄りから教わりながら輪飾りに挑戦しました。

（本号 11 ページに関連記事を掲載）

# 1

香美町広報  
平成22年1月号  
（第58号）

# 笑顔あふれるまちづくりに向かつて



新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を皆様おそいでお迎えにられましたこと、心からお喜びとお祝いを申し上げます。

さて、昨年は、第二期香美町政がスタートした年でした。町執行部も町議会も新たな陣容のもと、町民の皆様の深いご理解とご協力により、「財政の健全化」と「美しい山・川・海人が躍動する交流と共生のまち」を目指し「まちづくり」を一歩ずつ進めているところです。

平成17年に誕生した香美町も今年、5周年の節目を迎えます。そこで、合併後のまちの歩みを振り返るとともに、さらなる一体感を醸成するため、合併5周年記念事業を実施することになっています。

すでに、町民の方々による検討会で、記念式典や全町あげてのスポーツ大会の開催など、その方向性を示していただいていますので、今後は具体的に検討するなかで、町民の皆様と一体となり事業を進めたいと考えています。

まちづくりの指針であります「町総合計画」のうちの「基本計画」は、3年目を迎え、その目標年次が近づいています。

そこで、3町合併を踏まえた今後のまちづくりの方針を定めるため、全世帯を対象に、「香美町まちづくりアンケート（仮称）」を実施します。町民の皆様が日頃、感じておられること、また、これからの取組みに期待されていることなど、率直なご意見を頂きたいと考えています。

未来を担う子どもたちがふるさとに誇りを持ち、たくましく生きることができるよう「ふるさと教育」を、地域をあげて進めていただいています。

併せて、町民の皆様に町のすばらしさを再認識していただくため、町内の誇れる自然、景観、特産品などを「わが町自慢」として認定しようとして、現在、認定委員会に検討をお願いしているところです。できあがれば、全町民の共有財産として、広く町内外に情報発信したいと考えています。

交通アクセスでは、「余部道路」が今年12月に開通予定であり、県道香住村岡線の大乗寺バイパスは平成24年度、境バイパスは平成25年度の完成を目指して、それぞれ工事が始まっています。

また、香住区の市街地と山手地区を結ぶ町道山手若松線が昨年末に開通しました。JR山陰本線「余部新橋梁」も今年の秋には完成する予定となっています。

これらの交通網の整備が町の発展に大きく寄与するものと期待しています。

このように、皆様のご協力を得ながらまちづくりを進めています。今後、財政の健全化を確実になものにしつつ、まちづくりを一層進めるため、次の点を重要な課題として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

その一つは、観光振興を中心とした地域の活性化です。

山と海、特色のある多種多様な資源を生かした観光振興を推進していますが、山の方では、近年、雪不足が続いています。今後は、スキーなどを主体とした観光から四季型観光を目指した取組みを推進する必要があります。

一昨年の「香美町山の祭典 但馬牛・食まつり」に続いて、昨年「但馬牛ゆったりウォーク」を開催しましたが、さらに四季を通じた観光客の受入れが求められています。今年、県立兎和野高原野外教

育センターの指定管理を受けますが、町立施設など地域資源との連携による観光振興が期待されるとうところ。海の方では、昨年、山陰海岸が「世界ジオパークネットワーク」の内候補地に選ばれました。今年はこの認証に向けて町民の皆様をはじめ関係団体と一丸となった取組みをさらに強めていきたいと考えています。

次には、過疎化、少子化対策です。本町では、高齢化率が高く、戸数の少ない「小規模集落」が増えつつあります。一昨年からそのような20集落で対策を検討していますが、今後も集落の方々とともに集落機能の維持や持続的な発展につながる対策を図っていききたいと考えています。

小代区の3へき地保育所の統合につきましても、関係する保護者や地域の方々の理解を得ましたので、「認定こども園」に向けた準備を整えることにしています。

また、「教育環境会議（仮称）」を小学校区単位で開催し、学校の適正規模や施設整備などの幅広い課題について、皆様のご意見を頂きたいと考えています。

昨年を表す流行語は、「政権交代」でした。また、漢字一字は「新」が選ばれたように、国や地方に改革・改革を求め、期待した結果ではないかと考えます。

しかし、変革・改革は、一朝一夕でできるほど簡単なものではありません。町民の皆様のご協力、ご支援があつて実現できるものと考えていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

終わりになりましたが、本年が皆様にとりましてすばらしい年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

香美町長

長瀬 幸夫

# 育てよう一人ひとりの人権意識 く思いやりの心・かけがえのない命を大切に く

## 人権啓発作品表彰式、人権講演会を開催

●問い合わせ先  
役場健康福祉部町民課

1948年(昭和23年)に基本的人権の確保のため採択された世界人権宣言。これを記念して翌年12月から始まった人権週間も今回で61回目を迎えました。

香美町においても人権尊重の啓発活動を重点的に行うため、12月6日、香住区中央公民館で人権啓発作品表彰式と人権講演会が行われ、人権問題について認識を深めようと約300人が参加しました。



▲入賞者の皆さん

人権啓発作品表彰式では、昨年7月から10月にかけて募集したポスター、標語、作文について、各部門の入選作品の代表者に長瀬町長が表彰状を授与しました。併せて、第29回全国中学生人権作文コンテスト但馬地区予選入賞者の表彰状の伝達も行いました。これらの作品は「人権啓発作品集」にまとめ、3月に全世帯や関係機関などにお届けする予定です。

### 人権啓発作品入選者 (順不同・敬称略)

- 【ポスターの部】**
- 奥佐津小学校6年 松江美穂
  - 佐津小学校1年 田中秀汰
  - 柴山小学校2年 寺川愛唯
  - 香住小学校5年 福本桃子
  - 長井小学校6年 小田垣若葉
  - 余部小学校1年 平山弥南
  - 村岡小学校2年 前田和佳葉
  - 射添小学校4年 中村睦
  - 兎塚小学校2年 上田恵
  - 小代小学校1年 村尾愛奈
  - 香住第一中学校3年 本多美里
  - 香住第二中学校3年 三原早織
  - 村岡中学校3年 井上鈴奈
  - 小代中学校2年 中村円香
- 【標語の部】**
- 奥佐津小学校3年 裏戸模子
  - 佐津小学校5年 山田健太郎
  - 柴山小学校5年 濱名美里
  - 香住小学校6年 池本悠乃

### 【作文の部】

- 長井小学校4年 譽田明日香
  - 余部小学校3年 臼田龍平
  - 村岡小学校6年 中村安穂
  - 射添小学校1年 宅見美海
  - 兎塚小学校6年 中岡朝々
  - 小代小学校5年 大城真樹
  - 香住第一中学校1年 岡本凧紗
  - 香住第二中学校3年 吉田奈緒
  - 村岡中学校2年 片山聡生
  - 小代中学校3年 田中健太郎
  - 柴山小学校PTA 藤原伸也
  - 香住小学校PTA 安田由貴子
  - 余部小学校PTA 中村広行
  - 射添小学校PTA 石井久美
  - 香住第一中学校PTA 中村明子
  - 佐津小学校6年 神田拓海
  - 柴山小学校6年 大西里香
  - 小代小学校6年 井上敦
  - 香住第一中学校3年 吉田亜衣
  - 香住第二中学校3年 西谷由梨江
  - 村岡中学校3年 中村茜
  - 小代中学校2年 毛戸有美佳
- 第29回 全国中学生人権作文コンテスト 兵庫県大会但馬地区予選**
- ・金賞 香住第一中学校1年 福本有梨
  - ・銀賞 村岡中学校1年 村瀬陽祐
  - 小代中学校3年 長瀬彩香
  - ・銅賞 香住第二中学校2年 西田沙陽

### 人権講演会 「人の世に熱と光を！」 清原隆宣氏



清原氏は奈良県御所市の西光寺副住職。日本で最初の人権宣言「水平社宣言」を起草した西光万吉氏の弟の孫にあたり、

人権問題について全国各地で講演活動に取り組まれています。水平社運動発祥の地で生まれた清原氏は、実体験や水平社宣言の思想などを通じて人権問題を語りかけました。

1922年(大正11年)、全国水平社創立大会で「全国に散在する吾が特殊部落民よ団結せよ」で始まる水平社宣言が高らかにうたわれてから88年が経過した今も続く人権問題。

清原氏は人の値打ちを測ろうと個人が勝手に作った「まちがったものさし」が世間にあふれているため様々な問題がなくならないと指摘。人を尊重し、人のあるがままを認める「水平のものさし」を持つことが大切だと訴えました。

# いつまでも自分の歯で おいしく食べるために

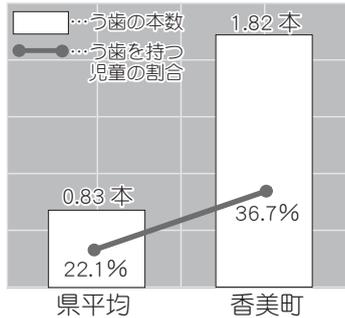
～ 元気なカミカミ香美っ子を育てよう ～

町では、子どもたちが一生噛める歯を持ち続けるため、口から始まる健康な体づくりを応援しています。

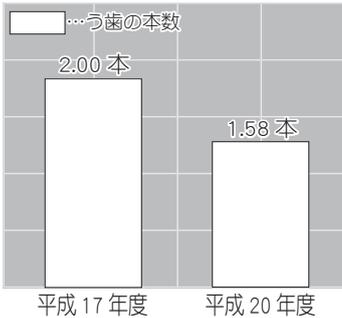
## ●子どもたちの歯の状況は…

子どもたちの歯の健康状態を表す指標として、3歳児および12歳児一人あたりの「う歯(むし歯)本数」があります。香美町の平成20年度の3歳児一人あたりのう歯本数、またう歯を持つ3歳児の割合とも、県平均より高いものとなっています(図1)。

(図1) 町内の3歳児における「う歯」の状況



(図2) 町内の12歳児における「う歯」の推移



## 歯・歯ぐき

### 健康力を高めるアドバイス!!

- かかりつけ歯科医を持って、常に新しい情報をもらう
- フッ化物洗口液や歯みがき剤を使う
- 奥歯が上手に磨ける力をつける
- 両方の奥歯でしっかり噛む
- デンタルフロスや糸ようじを使う
- ぶくぶくうがい3回以上のあと、がらがらうがいをする
- 食育について学び実践する
- おやつを選ぶ力を身につける
- 小学校高学年まで仕上げ磨きをする
- 1日1回、座って鏡を見て5分以上磨く



一生を自分の歯でおいしく食べて豊かに暮らせるかどうかは、乳幼児期の歯の状態が大きく影響します。乳幼児期の歯を健康に保つとともに、歯によい生活習慣を身につけさせるためには、左記のアドバイスのような取り組みを継続するよう、家族の努力や地域の協力が大切です。

家族ぐるみ、地域ぐるみで歯の健康を守って、子どもたちが8歳まで自分の歯を20本保てるよう「8020」運動を行いましょ。

## ●3歳児健診にみる生活習慣の実態

平成20年度の3歳児健診で保護者に行ったアンケートでは、子どもに時間を決めて間食を与えている人は74・3%で4人中3人とどまりました。子どもにとって間食は「4度の食事」といわれ、3度の食事できりきれない栄養を補うものです。内容と食べ方を大切にしましょう。

また、子どもがよく噛んで食べていると感じている人は78・6%、子どもが寝る前に飲食する習慣があると答えた人は21・2%となっています。寝る前には口腔をきれいにしておくことや、よく噛んで食べることを習慣づけましょ。

## ●保育園児も頑張っています

毎日、各保育所(園)の4、5歳園児は、歯を丈夫にするためにフッ化ナトリウム入りのうがい液を使って「ぶくぶくうがい」をしています。

また、う歯予防や食事のとり方について話を聞き、自分の体に関心を持つ機会をとっています。



▲歯の模型を見ながら歯みがきの練習(柴山保育所)

## ●乳幼児の個別歯科健診をいかに

事前に予約をする必要はありませんが、都合のよい時に受診できます。また、かかりつけ医のもとで生涯を通じて歯の健康を保つことができるので必ず受診しましょう。

## ●問い合わせ先

役場健康福祉部健康課  
各地域局健康福祉課

# 平成22年4月1日採用予定 町職員（正規職員・嘱託職員）を募集します

## 正規職員募集

●職種・採用予定人数・資格など

・看護師：1人

昭和49年4月2日以降に生まれた人で、看護師の資格を持つ人または平成22年3月末までに取得見込みの人

・介護支援専門員：1人

昭和44年4月2日以降に生まれた人で、介護支援専門員の資格を持つ人または平成22年3月末までに取得見込みの人

・介護員：1人

昭和44年4月2日以降に生まれた人で、介護福祉士の資格を持つ人または平成22年3月末までに取得見込みの人

## 勤務場所

公立香住病院

## 応募方法

・市販の履歴書（写真貼付）と希望職種の資格を持つ人はそれを証明する書類の写しを提出してください。

・2月中旬に面接を行います。

## 応募締め切り

・持参：1月22日（金）  
・郵送：1月20日（木） 消印有効

## 問い合わせ（提出）先

役場総務部総務課  
公立香住病院事務局

## 嘱託職員募集

●職種・採用予定人数・資格など

①介護員：1人

昭和44年4月2日以降に生まれた人で、介護福祉士の資格を持つ人または平成22年3月末までに取得見込みの人

②消費生活相談員（週4日と半日勤務）：1人

昭和35年4月2日以降に生まれた人で、普通自動車運転免許以上を持ち、簡単なパソコン作業ができる人

## 勤務場所

①公立香住病院

②役場本庁舎（ただし、週2～3日は但馬文教府（豊岡市妙楽寺41-1）勤務）

## 報酬

①月額16万5000円、期末手当2カ月分  
②月額15万2000円

①、②とも通勤手当支給、社会保険、雇用保険に加入

## 応募方法

・市販の履歴書（写真貼付）と希望職種の資格を持つ人はそれを証明する書類の写しを提出してください。

・2月中旬に面接を行います。

## 応募締め切り

1月22日（金）

## 問い合わせ（提出）先

役場総務部総務課  
各地域局地域振興課

# 住基カードの「電子証明書」登録で、便利でお得!!

## オンライン確定申告「e-Tax」

住基カードに「電子証明書」（本人確認の証明書）を登録すれば、ホームページから簡単に確定申告ができてお得です。

●こんなお得な点があります

・所得税の申告で最高50000円の税額控除（ただし、平成19年分から平成22年分のいずれか1回のみ）

・医療費の領収書や給与所得の源泉徴収票など添付書類が提出不要

・還付金がスピーディー

●ご利用に必要な準備

・役場健康福祉部町民課または各地域局健康福祉課で、住基カードに「電子証明書」を登録（要5000円）してください。

・開始届出書の提出

（オンラインで簡単です。手続きはお早めにICカードリーダーライタの購入）

## ～便利でお役に立つ～



「住基カード」を取得しましょう

住基カードは市町村が交付する安全性の高いICカードで、役場健康福祉部町民課または各地域局健康福祉課で無料で交付が受けられます。

（平成23年3月末までに申請した場合）

●こんなときに便利です

住基カードは、写真付きと写真なしの2種類あり、写真付きの住基カードは公的な身分証明書として利用できる。運転免許証のない人や運転免許証を返納された高齢者にはお役に立ちます。

## 問い合わせ先

役場健康福祉部町民課  
各地域局健康福祉課

## 問い合わせ先

豊岡税務署個人課税部門  
☎0796・22・2144  
役場総務部税務課



## 雇用の拡大と産業の振興

### 若者（35歳未満）の新規雇用を奨励しています

町では、企業立地促進条例と若者雇用促進奨励金交付要綱を制定し若者の雇用を促進しています。

企業立地促進条例は一定要件を満たす新、増設の企業を対象とし、

工場などの設置や若者の新規雇用を奨励するもの。また、若者雇用促進奨励金交付要綱は企業立地促進条例の対象外の新、増設の企業やすでに操業している事業所での若者の雇用を奨励するものです。

#### ●雇用の奨励に係る条例と要綱

	企業立地促進条例	若者雇用促進奨励金交付要綱
交付対象時期	工場などの新増設のときから5年間	対象者があれば毎年でも可
業種	農林業、漁業、製造業、情報通信業、運輸業、卸売業、飲食業、宿泊業、サービス業	業種の指定は無し
除外企業	風俗営業および性風俗関連特殊営業の企業	・風俗営業および性風俗関連特殊営業の事業所 ・町から運営費などの補助を受けている事業所
交付対象となる雇用条件	町内に住所を有する35歳未満の人を新規に雇用	町内に住所を有する35歳未満の人を新規に雇用
従業員の身分	常時雇用される人	常時雇用される人
交付対象人数	初年度は3人以上	1人から
交付額	1人あたり15万円	1人あたり10万円
交付限度額	600万円	無し
交付対象になる雇用年数	1年以上	3年以上
奨励金の請求	雇用した日から1年後	雇用した日から1年後
交付対象となる被雇用者の雇用年数経過後の報告義務	必要無し	雇用した日から3年後に報告必要

#### ●問い合わせ先

役場産業部観光商工課 各地域局地域振興課

## 香住都市計画区域マスタープラン 都市計画案を縦覧します

県は、「香住都市計画区域マスタープラン（都市計画区域の整備、開発及び保全方針）」の見直しに伴う都市計画案の縦覧を次のとおり行います。

なお、縦覧期間中にこの案に対する意見書を提出することができます。



#### ●縦覧・意見受付期間

1月19日（火）～2月2日（火）

#### ●縦覧場所

県庁都市計画課、役場建設部建設課

#### ●意見書提出方法

2月2日（火）までに住所、氏名、年齢および案に対する意見を記載したもの（様式は問いません）を持参または郵送で県庁都市計画課に提出してください。

#### ●問い合わせ先

県庁都市計画課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

☎078・362・3578

役場建設部建設課

## ニート・引きこもり

### 出張無料相談会を開催します

ニートや引きこもりなど若年無業者を対象として、労協若者サポートステーション豊岡による出張無料相談会を開催します。



#### ●とき

1月20日（水）

10:00～16:00

#### ●ところ

村岡老人福祉センター

#### 若者サポートステーションとは…

15歳から40歳のニートや引きこもりなどの若年無業者の相談業務や就労・自立に向けた支援を行うことを目的として、厚生労働省が平成18年度から全国に設置しているもの。但馬地域では豊岡市を拠点に活動しています。

#### ●問い合わせ（申し込み）先

労協若者サポートステーション豊岡 ☎0796・34・6333

役場産業部観光商工課、各地域局地域振興課

地域防災の連携を強化  
大規模災害時の応援協定を締結しました

12月2日、但馬3市2町（豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町）と、社団法人兵庫県自動車整備振興会但馬支部（山本順一支部長）との間で、「災害発生時における障害物除去等の協力に関する協定」を締結しました。



▲がっちり握手をする長瀬町長と山本支部長

この協定は、地震、風水害などの大規模災害の際、町の要請によりレッカー車などで放置車両や道路上の障害物の除去などをボランティアで協力していただき、町が行う災害応急対策を円滑に行うことを目的とするものです。

町内では同支部香住ブロックの香住区自動車整備業組合（中井聡会長、会員の10事業所にご協力をいただきます。（左表、順不同）

- ・(有)タムラモーターズ
- ・(株)ナカイ自動車センター
- ・(有)田中モーターズ
- ・(有)ムコネ自動車工業
- ・(有)香洋自動車
- ・太平自動車工業
- ・(有)山本モーターズ
- ・小西自動車整備
- ・川戸自動車工業(株)香住営業所
- ・(有)秀和工建



●問い合わせ先  
役場健康福祉部町民課

ポリビアで発掘された化石100点  
寄贈いただきました

「子どもたちへの教育などに役立ててもらいたい」と約2億5億年前の三葉虫などの化石30種100点を香住青年会議所（寺川雄大理事長）から寄贈いただきました。

この化石は、終戦前日に香住沖で撃沈された海防艦乗組員を兄に持つ元ポリビア大使館職員大野透太郎さん（和歌山県田辺市）が同会議所に寄贈したものです。

大野さんは今年初めて兄が香住沖で戦死したことを知り、同会議所が毎年8月に行っている海防艦乗組員の慰霊祭に出席。以前から同会議所が海防艦乗組員を手厚く慰霊していたことに感激した大野さんは、自身が保管していた化石を同会議所に寄贈しました。

11月26日、役場を訪れた寺川理事長ら4人は、長瀬町長などと会談し、化石の説明や町への寄贈に至った経緯を説明。寺川理事長は「来年は世界ジオパークに挑戦する年。子どもたちを含め多くの人にジオパークを考えるきっかけになれば」と語ってくれました。



▲化石の説明を行う寺川理事長（写真右）

おめでとございます  
感謝状が贈呈されました

海難救助活動の支えとなる「青い羽根募金」への協力を乗船客に呼びかけている遊覧船かすみ丸（山口都子社長）が、社団法人日本水難救済会から感謝状を贈呈されました。

同社は約10年前から募金の呼びかけを行っており、昨年10月から1年間で行った募金の総額は約44万円で県全体の約8割に上ります。

山口社長は「水難事故防止に役立てばと思います。これが『海への恩返し』につながれば」と語ってくれました。



▲感謝状を贈呈される山口社長

おめでとございます  
町内から表彰受賞者がありました（順不同）

●兵庫県農業賞

梨栽培における新技術導入とブランド化による産地の地位向上  
宮下克己さん（香住区浜安木）

●兵庫県林業賞

自然に優しい土づくりと優れた苗木生産技術の普及  
山本弘毅さん（村岡区口大谷）

# 求人情報

詳細については、ハローワークにおたずねください。

ハローワーク香住（職業安定所） 0796・36・0137

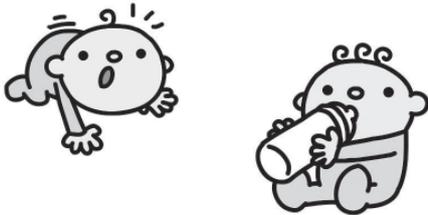
（平成21年12月20日現在 順不同）

《正社員》					水産加工	2	不問	香住区隼人	マルカツ水産㈱
職種	人数	年齢	所在地・勤務地	事業所名	水産加工	1	不問	香住区香住	マルヤ水産㈱
営業	1	42以下	香住区香住	マルヨ食品㈱	販売	3	不問	香住区香住	㈱コメリ中四国地区本部
営業	1	39以下	香住区香住	㈱カスミ	販売	8	不問	村岡区大糠	
薬剤師	1	59以下	香住区若松	日本調剤㈱大阪支店	接客	4	不問	香住区浦上	旅館きむらや
調理・接客	2	不問	香住区七日市	平和焼肉	接客	2	不問	香住区訓谷	㈱三楽
電気工事士	2	59以下	香住区間室	㈱北近畿環境開発	接客	2	不問	香住区香住	㈱三七十
交通警備	2	不問	香住区香住	㈱警備ひやく但馬営業所	接客	5	18以上	香住区七日市	プリティキャッツ
《パートほか（正社員以外）》					接客	2	18以上	香住区香住	ライムライト
職種	人数	年齢	所在地・勤務地	事業所名	クリーニング社立	2	不問	香住区守柄	㈱伸和ラビットクリーニング守柄工場
栄養士または管理栄養士（月給制）	1	不問	香住区若松	富士産業㈱神戸事業部	縫製	2	不問	村岡区高井	デサントアパレル㈱村岡工場
栄養士または管理栄養士（時給制）	1	不問			レジ	2	不問	村岡区大糠	㈱ナカケー
調理師	1	不問			販売	1	不問	村岡区入江	㈱宿院商店
調理補助	2	不問							

お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。



※このコーナーは、先月（11/26～12/18）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

※このコーナーは、先月（11/26～12/18）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

## 一 編集後記

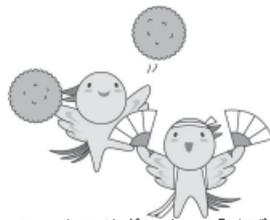
あけましておめでとうございませう。さて、神聖な場所（家の中）に災いが入らないよう区切るしめ縄。子どもたちがお年寄りからしめ縄作りを教わる様子は微笑ましいものですね。店で購入するのは簡単ですが、伝統文化の継承は大切にしていきたいものです。

それでは、今年もよろしくお祈りします。（みうら）

## － まさかよりもしにも備えるフェニックス－

# フェニックス共済

年額 5,000 円（初年度は月額 500 円）で大きな安心。自然災害への備えのために、フェニックス共済にぜひご加入ください。



▲フェニックスサポーター「はばタン」

## ●給付額（住宅が半壊以上の被害を受けた場合）

種類	給付対象	給付金額
再建等給付金	再建・購入	600万円
	全壊で補修	200万円
補修給付金	大規模半壊で補修	100万円
	半壊で補修	50万円
居住確保給付金	再建・購入・補修をしない場合	10万円

※県外で再建・購入した場合は2分の1の額となります。

※賃貸住宅などは別途制約があります。

## ●問い合わせ先

但馬県民局総務防災課

☎0796・23・1001

認知症サポーター養成講座  
(11月26日、香住区訓谷「佐津小学校」)

## お年寄りにいたわりの心を



▲お年寄りの大変さを身をもって体験

佐津小学校(田中勲校長、70人)の全校生徒を対象に福祉学習の一環として行われたこの講座は、認知症の啓発や、見守りサポーターの養成を目的に役場と香美町社会福祉協議会などが協力し、昨年から行っているもの。

今までいきいきサロンなどで行ったことはありましたが、小学校で行うのは今回が初めてです。

この日は、認知症の高齢者を持つ家庭の日常を演じた劇や話し合いなどを通して、認知症について正しく理解し、周りの人がどのように支えていくかを学習しました。

視野を狭くする特殊なめがねや体の動きを抑制する手足のおもりなど装着し、高齢者の日常動作を疑似体験した山田健太郎くん(佐津小5年、香住区相谷)は「前が見えにくいし、腰をかがめたまま歩くのは大変でした。お年寄りに優しくしてあげたいです」と語ってくれました。

第27回かすみカニ場まつり  
(11月29日、香住区「香住漁港西港」)

## カニシーズン真っ只中 港にあふれる活気

恒例のカニすきぞうすいやカニ汁の無料サービスに長蛇の列ができるなど多くの観光客で賑わった同まつり。

熱々の雑炊を早く食べ終わった人が優勝する「カニすきぞうすい早食い大会」では、参加者は悪戦苦闘しながらも家族や友人の応援を受けて必死に雑炊をかき込んでいました。

今年の祭りから初めて行われた松葉ガニ捌き方教室には20人が挑戦。いつもは食べるだけの高級食材、松葉ガニを捌くとあって参加者の包丁を握る手も恐る恐る。参加した吉岡晴彦さん(京都市)は「初めての経験なのでどうなるかと思ったが、やり始めたら意外に簡単でした。カニも買ったので、帰ったら早速家族に成果を見てもらいます」と語っていました。



▲松葉ガニの捌き方を教わる参加者

ペットボトルツリー点灯式  
(12月11日、香住区香住「香住文化会館」)

## ペットボトルで「エコ」クリスマス



▲サンタクロースをイメージしたツリーも登場(写真左)

リサイクル意識を高めてもらおうと香美町商工会が取り組んでいるペットボトルツリーが香住文化会館、村岡民俗資料館「まほろば」、小代物産館で完成。

このうち香住文化会館では、高さ約5mのツリー2基が点灯され、闇夜を幻想的に照らしました。

このツリーは、町商工会青年部香住支部(中村宗弘支部長)が8月ごろから香住小学校児童やPTAと協力し回収した約2,200本のペットボトルを使用。11月上旬から製作を開始し、約1カ月で完成したものです。

点灯式にはサンタクロースやトナカイに扮した青年部員などが登場。また歌手のやびきあきこさん(香住区市午)がクリスマスソングで盛り上げるなど、会場は一足早いクリスマスモードに包まれていました。

射添小学校児童の絵画がデザインされた自動販売機が誕生

(12月11日、村岡区川会「射添ふるさと館」、同日影「猿尾滝駐車場」)

## 世界にたった一つだけ「僕たちの自動販売機」

11月に豊岡市の但馬ドームで行われた「但馬まるごと感動市」のポスターなどに使用された射添小学校1年生12人が描いた絵画が好評であったことから、設置業者のコカ・コーラウエストと県が協力し誕生したものだ。

「地域の誇れる魅力」をテーマに町内の豊かな自然を描いた絵画は、虫取りや魚つかみ、家族のふれあいなどが鮮やかな色使いで元気いっぱい描かれています。

この日射添ふるさと会館で行われた除幕式では、絵画を描いた児童12人による校歌斉唱や除幕の後、式典参加者が第1号缶の購入を行いました。

この自動販売機は、災害時に緊急飲料として無料開放されるほか、収益の一部は射添を考える会（向谷悦男会長）が行う環境保全活動などに活用されます。



▲「ここに僕の絵がある」と大きな歓声をあげる児童たち

香住地区公民館 しめ縄作りもちつき大会

(12月13日、香住区香住「香住文化会館」ほか)

## 正月準備、みんなで楽しく！



▲「よいしょ！」掛け声にあわせてもちをつく子どもたち

世代間の交流と伝統文化の継承を目的として行われた同会には香住区内の保育園児から中学校2年生までの40人が参加。5班に分かれた子どもたちは香住地区老人会のお年寄りに教わりながら輪飾りに挑戦しました。

お父さんと参加した川戸若菜さん（香住小2年、香住区七日市）は「わらをなうのが難しかった。でも楽しかったのでもたやってみみたいです」と出来上がった輪飾りに満足そうでした。

また、もち米30kgが用意されたもちつきでは、子どもたち全員が交代で12うすのもちをつきました。重いきねをうまく使えず悪戦苦闘する子どももいましたが、つきたてのもちをぜんざいに入れておいしくみんなで食べました。

雪国ホームステイ

(12月17日～20日、小代区)

## 日本の伝統文化に触れた4日間

みかた国際交流協会（久保井洋次会長）は、昭和56年からオーストラリアの留学生を一般家庭に迎え入れるホームステイを通して、町民と留学生との国際交流を推進しています。

今年も、4人の短期留学生が12月17日から20日までの3泊4日で小代区を訪れ、日本の伝統文化や初めて見る雪に歓声を上げていました。

19日には小代小学校で行われた「そば打ち体験交流会」に、20日には忠宮へき地保育所で行われた「ふれあい収穫祭」に参加。地域の皆さんと一緒にそば打ち、もちつき、もちばなづくりなどを体験しました。また、勾玉作りや習字など、さまざまな日本の文化に触れた留学生は「とても楽しかった。雪を見ることができてうれしかったです。ありがとう」と送別会で感想を語っていました。



▲初めてのもちつきを楽しむ留学生

役場各課など  
主な施設の連絡先

役場本庁舎 36・1111  
(代表)  
総務課 36・1111  
企画課 36・1962  
税務課 36・1113  
会計課 36・4321  
町民課 36・1110  
健康課 36・1114  
福祉課 36・1964  
農林水産課 36・0846  
観光商工課 36・3355  
建設課 36・1961  
上下水道課 36・0420  
議会事務局 36・1963

村岡地域局 94・0321  
(代表)  
小代地域局 97・3111  
(代表)

教育委員会 94・0101  
香住分室 36・3764  
小代分室 97・3966

公立香住病院 36・1166  
公立村岡病院 94・0111  
香住地域福祉センター  
36・4345  
香住老人福祉センター  
36・5008  
村岡老人福祉センター  
98・1000  
小代高齢者生活支援センター  
97・2202

(全ての施設の市外局番：0796)

まちのうごき

(平成 21 年 12 月 1 日現在)

合計 21,348 人 (- 26)  
男 10,150 人 (- 16)  
女 11,198 人 (- 10)  
世帯数 6,923 世帯 (± 0)  
カッコ内は前月比

ふるさとの魅力を訪ねて

# 今昔物語

その六

時とともに変わりゆくもの

時を経て、なお、変わらないもの

歴史をつなぐ一筋がそこにある…



▲昭和 40 年の但馬トンネル開通式

上の写真は、香美町と養父市の境目、村岡区の八井谷峠を貫く国道 9 号「但馬トンネル」開通式の様子です。

昭和 38 年から始まったトンネル建設工事は同 40 年に完成。国道 9 号の改修工事の中でも困難を極めました。

人と物の流れを大きく変えたこのトンネルは、現在でも香美町と京阪神方面をつなぐ大動脈として活躍しています。



▲現在の但馬トンネルと国道 9 号

## 農林業センサスにご協力をお願いします



▲農林業センサスマスコットキャラクター「つっちーくん」

平成 22 年 2 月 1 日を調査基準日として、1 月中旬から農林業関係者を対象に調査票を配布しますのでご協力をお願いします。

「農林業センサス」とは・・・

農林業・農山村の現状と変化を的確にとらえ、きめ細かな農林行政を推進するために、5 年ごとに農林業を営んでいる世帯や法人を対象に行う統計調査です。

●問い合わせ先 役場産業部農林水産課



この「広報ふるさと香美」は、自然環境を考えてソイ(大豆)インキ、再生紙を使用しています。